相続した実家、“売る・貸す・残す”

判断基準チェック表

次の質問に「はい」「いいえ」で教えてください。

STEP 1. 自分と家族の状況を整理しよう！

- ① 現在、自分または家族の誰かが実家に住む予定がある
- ② 実家の場所は利便性が高く、交通アクセスも良い
- ③ 今後、二世帯・三世帯で使う可能性がある
- ④ 感情的に、思い出のある家として手放したくない
- ⑤ 相続人の間で方針がまとまっている

※「はい」が多いほど → 「残す（保有）」という選択肢が現実的です。

STEP 2. 建物・土地の価値や活用可能性を確認しよう！

- ⑥ 建物の築年数が比較的新しく、修繕の必要が少ない
- ⑦ 近隣に空室需要があり、賃貸としての需要がありそう
- ⑧ 再建築が可能である
- ⑨ 固定資産税など維持費が過度に負担ではない
- ⑩ 建物の間取りが今の時代にもニーズがある

※「はい」が多いほど → 「貸す（活用）」の可能性がります。

STEP 3. 経済的・心理的な現実も考慮しよう！

- ⑪ 遠方に住んでおり、自分での管理が難しい
- ⑫ 相続人全員が現金化を希望している
- ⑬ 将来の売却タイミングに不安がある（価値が下がるなど）
- ⑭ 維持コストや管理の手間を軽減したい
- ⑮ 近隣とのトラブルや防犯リスクが心配

※「はい」が多いほど → 「売る」という判断が前向きな選択です。

チェック結果の目安

「残す」の項目が多い → まずは今後の活用計画と名義・管理を明確に

「貸す」が多い → リフォーム費用や需要を調査した上でシミュレーション

「売る」が多い → 市場の相場を確認し、信頼できる会社に相談を検討

※メルマガを読むだけで、不動産や相続の基礎知識が自然と身につきます。

「難しいことは苦手」という方にも安心の内容です。